



平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月4日

上場会社名 米久株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2290 URL http://www.yonekyu.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 青柳 敏文 TEL 055(929)2797
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月16日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	33,767	△3.3	5	—	△11	—	△124	—
25年2月期第1四半期	34,906	2.9	△195	—	△233	—	△227	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 417百万円 (—%) 25年2月期第1四半期 △264百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	△4.89	—
25年2月期第1四半期	△8.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	62,924	36,011	57.1	1,417.33
25年2月期	61,146	36,050	58.9	1,418.86

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 35,956百万円 25年2月期 35,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	18.00	18.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	73,000	4.3	610	—	530	—	0	—	0.00
通期	150,000	5.4	2,050	322.8	2,000	520.4	700	—	27.32

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ー）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期決算より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期1Q	28,809,701株	25年2月期	28,809,701株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	3,440,790株	25年2月期	3,440,675株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期1Q	25,368,953株	25年2月期1Q	26,361,614株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料に記載した予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年12月の新政権誕生以後、円安の進行とともに株価上昇が続き、景気回復の期待感が高まる一方で、予定される消費税増税による将来的な影響や少子高齢化社会の本格化、貿易協定交渉の影響など、景気の足取りは未だ確かとは言い難い状況です。

食肉加工品業界におきましては、豚肉・牛肉・鶏肉の国産食肉相場が前年同期を上回る水準で推移したものの、円安による輸入原材料価格や電気料金の上昇が利益の負担要因となりました。一方、昨年末以降、景気回復の兆しが現れたものの、消費者の節約志向は依然として強く、経営環境は楽観できない状況が続いております。

このようななか、当社グループは、「販売チャネルの拡大」「コンシューマ商品の増強」「デリカ商品の強化」「経営管理体制の強化」の4つの戦略に引き続き取り組みました。

これらの戦略に基づいた主な施策として、3月に、冷凍食品の販売強化のために「冷食事業部」を新設し、またコンビニエンスストアへのさらなる販売拡大に向けて「CVSユニット」を独立組織といたしました。次に、国産鶏肉の生産数量拡大に向けて、米久おいしい鶏(株)が鳥取県に鶏舎を新設し、さらに静岡県内の2つの農場も譲り受けました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、337億67百万円（前年同期比3.3%減）となりましたが、利益につきましては、低採算取引の整理をしたことに加え、昨年はテレビコマーシャルの放映により増加した広告宣伝費が本年は減少したこともあり、営業利益が5百万円（前年同期は1億95百万円の損失）、経常利益が11百万円の損失（前年同期は2億33百万円の損失）と改善いたしました。一方、不採算部門の整理に関連し、特別損失を計上したことなどもあり、四半期純利益は1億24百万円の損失（前年同期は2億27百万円の損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<加工品事業>

ハム等では、量販店向けのロースハムが減少したものの、コンビニエンスストア向け加工品が増加した結果、全体の売上高・数量は増加いたしました。

ソーセージでは、主力の「御殿場高原あらびきポーク」に加え、本年3月に新規投入したキャラクターソーセージの「たまごっち！ウインナー」も寄与し、国産コンシューマ商品を大きく伸ばしました。また、米国子会社製品の輸入販売も好調に推移したことから、全体の売上高・数量は増加いたしました。

デリカでは、外食やコンビニエンスストア向けの業務用商品が好調に推移いたしましたが、量販店向け一部商品の減少が響き、全体の売上高・数量は前年並みとなりました。

以上の結果、加工品事業は、売上高は137億85百万円（前年同期比2.5%増）となりましたが、原材料価格の高騰などにより、営業利益は35百万円の損失（前年同期は47百万円の損失）となりました。

<食肉事業>

採算改善を重視し営業活動を推進した結果、数量が大幅に減少し、それに伴い売上高も減少しましたが、昨年低迷した国産鶏肉相場の回復もあり、収益は向上いたしました。

豚肉では、大洋ポーク(株)の「瀬戸内六穀豚」などのブランド品は数量が大幅に増加したものの、国産豚肉全体は減少いたしました。また、輸入品も調達価格高騰により減少した結果、全体の売上高・数量は減少いたしました。

牛肉では、長期に亘る相場低迷からの復調と国産ブランド「岩手めんこい黒牛」の拡販などにより、国産品の売上高は増加しましたが、輸入品は円安による調達価格上昇が響き、販売が低調に推移した結果、全体の売上高・数量は減少いたしました。

鶏肉では、牛肉同様に国産品の売上高が増加したものの、輸入品は低迷し、全体の売上高・数量は減少いたしました。

以上の結果、食肉事業は、売上高は194億90百万円（前年同期比5.8%減）と減少したものの、国内相場の回復もあり、営業利益は41百万円（前年同期は1億33百万円の損失）と増加いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は、前連結会計年度末に比べ17億77百万円増加（2.9%増）して629億24百万円となりました。これは売掛金やたな卸資産が増加したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計額は、前連結会計年度末に比べ18億17百万円増加（7.2%増）して269億13百万円となりました。これは買掛金が増加したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末に比べ39百万円減少（0.1%減）して360億11百万円となりました。これは為替換算調整勘定が増加した一方、配当金の支払などに伴い利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月11日に公表した連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,266	9,375
受取手形及び売掛金	14,461	14,914
商品及び製品	4,609	5,630
仕掛品	836	900
原材料及び貯蔵品	2,173	2,069
その他	1,856	1,783
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	34,200	34,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,166	8,707
土地	8,310	8,426
その他(純額)	3,175	3,436
有形固定資産合計	19,653	20,570
無形固定資産		
のれん	904	911
その他	664	623
無形固定資産合計	1,568	1,534
投資その他の資産		
その他	5,761	6,183
貸倒引当金	△37	△35
投資その他の資産合計	5,723	6,147
固定資産合計	26,945	28,253
資産合計	61,146	62,924
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,750	18,863
短期借入金	456	454
未払法人税等	249	178
引当金	560	536
その他	3,912	4,843
流動負債合計	22,928	24,877
固定負債		
長期借入金	375	300
退職給付引当金	450	459
その他の引当金	132	78
その他	1,208	1,198
固定負債合計	2,166	2,035
負債合計	25,095	26,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,634	8,634
資本剰余金	8,375	8,375
利益剰余金	21,276	20,695
自己株式	△2,737	△2,737
株主資本合計	35,548	34,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	428
繰延ヘッジ損益	257	349
為替換算調整勘定	△129	209
その他の包括利益累計額合計	446	988
少数株主持分	55	54
純資産合計	36,050	36,011
負債純資産合計	61,146	62,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	34,906	33,767
売上原価	30,277	29,236
売上総利益	4,629	4,531
販売費及び一般管理費	4,824	4,525
営業利益又は営業損失(△)	△195	5
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
賃貸不動産収入	23	24
受取補償金	—	30
その他	74	67
営業外収益合計	99	123
営業外費用		
支払利息	4	3
賃貸不動産費用	14	20
持分法による投資損失	89	102
その他	28	13
営業外費用合計	137	141
経常損失(△)	△233	△11
特別利益		
補助金収入	15	15
特別利益合計	15	15
特別損失		
固定資産除却損	—	60
固定資産売却損	—	12
特別損失合計	—	72
税金等調整前四半期純損失(△)	△217	△68
法人税、住民税及び事業税	147	161
法人税等調整額	△137	△104
法人税等合計	9	56
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△227	△125
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純損失(△)	△227	△124

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△227	△125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	109
繰延ヘッジ損益	△46	92
為替換算調整勘定	36	65
持分法適用会社に対する持分相当額	—	274
その他の包括利益合計	△37	542
四半期包括利益	△264	417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△264	417
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	加工品事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,454	20,695	34,149	757	34,906	—	34,906
セグメント間の内部売上高又は振替高	36	3,211	3,248	47	3,295	△3,295	—
計	13,490	23,906	37,397	804	38,202	△3,295	34,906
セグメント損失(△)	△47	△133	△181	△13	△195	—	△195

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業及びその他の事業(飲料の製造販売、菓子等の製造販売)を含んでおります。

(注2) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	加工品事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,785	19,490	33,275	491	33,767	—	33,767
セグメント間の内部売上高又は振替高	32	3,257	3,290	—	3,290	△3,290	—
計	13,818	22,747	36,566	491	37,058	△3,290	33,767
セグメント利益又は損失(△)	△35	41	5	0	5	—	5

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業及びその他の事業(飲料の製造販売)を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。